

生方記念資料館



生方記念資料館は、「旧生方家住宅」の元所有者であった生方誠氏(1894~1978)が生前収集した資料を展示するため、たつゑ夫人(歌人で沼田市名誉市民・1904~2000)が資料と資料館建設費用を沼田市へ寄贈したことにより建設されました。

当資料館では、寄贈された資料の中から書画や出土資料等を広く公開しています。なお、常設展示では、生方誠氏の生い立ちや文化人の側面を持つ誠氏の作品等を紹介しています。

構 造 壁式鉄筋コンクリート造
一部鉄骨造 1階建

屋 根 硫化処理銅板一文字平板葺寄棟造

建築面積 101.67m²

延床面積 96.54m²

竣 工 昭和54年9月25日

利用案内

- ・公開時間 午前9時~午後4時
(入館は午後3時30分まで)
- ・休館日 水曜日・祝日の翌日
(祝日が水曜日の場合は木曜日)
年末年始(12月29日~1月3日)

観覧料 (生方記念資料館を含む)

- ・個人 110円
- ・団体(20人以上) 60円

※中学生以下の方並びに身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその付き添いの方1人は無料。

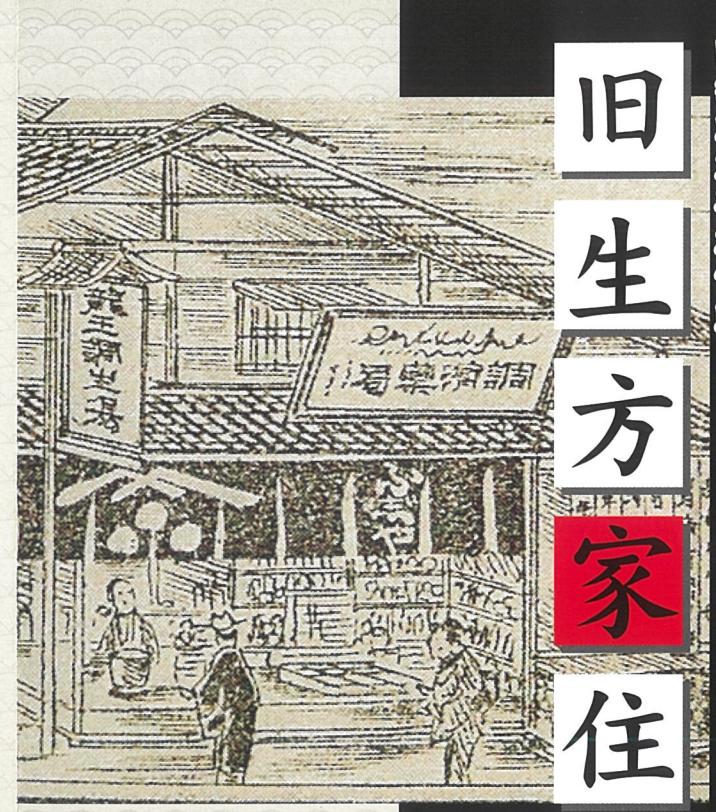
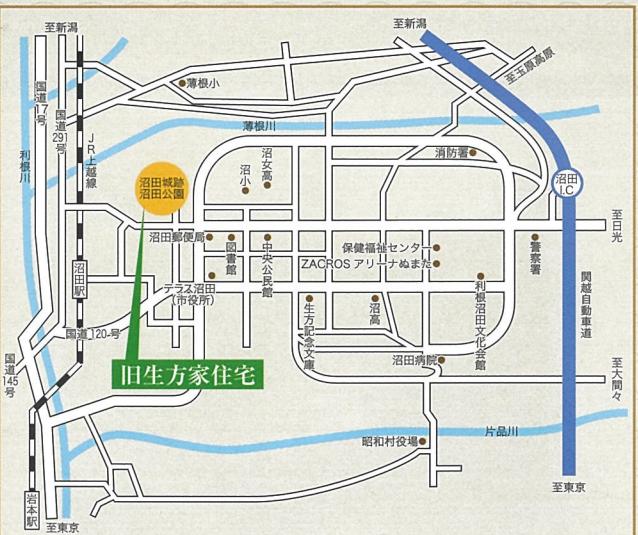
所 在 地

〒378-0042

群馬県沼田市西倉内町594番地(沼田公園内)

電話番号 0278(23)4766

位 置 図

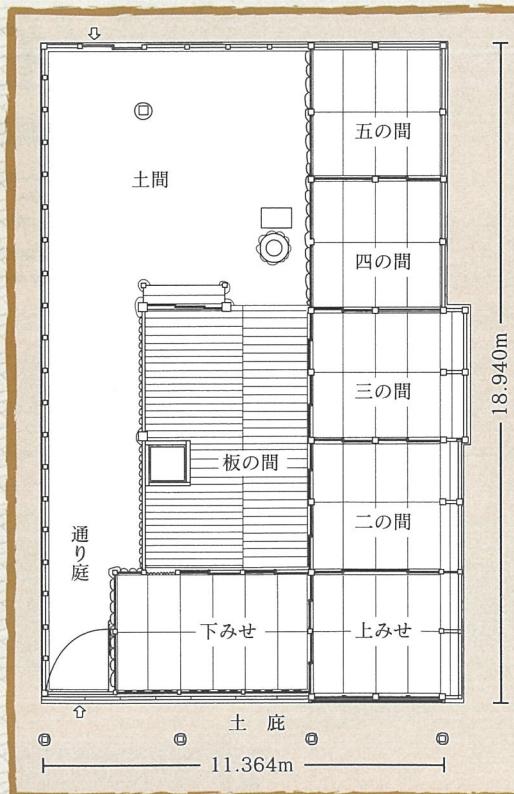


東日本における古き町家造

- ・推定建築時期 17世紀末
- ・建築様式 切妻造 妻入
- ・屋根 根板葺石置屋根
- ・平面積 約 221 m²
- ・国指定年月日 昭和45年6月17日
- ・間取りの特徴

本町通りに面した正面に蔀戸しとみどのある店を構え、その奥に座敷や居間などが続き、西側の大戸から裏へ抜ける通り庭を持つ町家の典型的な間取りです。

▼一階平面図



〈生方家〉

生方家は、沼田藩の薬種御用達を務めた商家でした。始祖は、沼田近在の屋形原出身で、永禄・天正の頃は生方兵部之介と名乗る武士であったといわれていますが、沼田に定住し薬種商を営むようになった時期は明らかではありません。

屋号は「ふちや」ですが、上之町の角地にあったので「かどふち」と呼ばれるようになりました。



▲内 部



▶屋
根



▲移築前

旧生方家住宅は、妻入・板葺の町家で、その様式・技法から見て十七世紀末頃に建築されたものと考えられますが、元治元年（1864年）の大修理をはじめとして幾回かの改築・増築を経て現代にいたりました。東日本では最も古い町家造りの建築物であることから昭和45年6月17日付けで国の重要文化財に指定されました。しかし、沼田市の繁華街の中心（上之町199番地）に在ったため保存に困難をきたし、生方家もこの住宅をこのままの状態で維持管理することが至難であるとの理由から沼田市が譲り受け保存することになりました。そして、文化庁の指導のもとに沼田公園内に移築する計画が進められ、昭和47年2月1日に移築工事に着手し、解体時の調査により、建物の過去の状況が判明しましたので、できる限り初期の建築形態の復原につとめ、昭和48年6月30日本屋の移築工事が完成しました。その後各種の附帯工事が終了し、昭和49年4月1日に一般公開を開始しました。